

「富士山」に関する、ここ数ヵ月間の新聞記事の中からピックアップしました。



1999.10.24 静岡新聞 朝刊

1999.12.14 毎日新聞 朝刊

富士高新聞部の女性記者2人

富士山頂の公衆トイレ事情追跡

「垂れ流し」の現状など取材 企画特集にまとめる

富士山頂の公衆トイレ事情を追跡する企画特集が、毎日新聞の女性記者2人によってまとめられた。この特集は、富士山の環境保全と観光客の利便性を両立させるための取り組みを、現場から取材し、写真と合わせて紹介する。記事によると、山頂のトイレは、冬場の凍結や雪によるアクセスの悪化が深刻で、中には「垂れ流し」の状態にあるものもあるという。また、トイレの清掃や管理に十分な予算が確保されていない現状も指摘されている。この特集は、読者の関心を喚起し、関係機関への改善を促すことが目的とされている。



富士山頂の公衆トイレを特集した写真を持つ西川さん（左）と三井さん

- 第2回富士山憲章推進会議開催 1999.11.10 静岡新聞朝刊
- 「富士山ナショナル・トラスト」保坂副会長 「富士山南東麓の地下構造と地下水」県地学会で発表 1999.11.23 静岡新聞朝刊
- 富士山100年プロジェクト3776構想推進協議会20日発足 1999.12.4 静岡新聞朝刊
- 富士山再生キャンペーン展開 1999.12.16 毎日新聞朝刊
- 第1回富士山100年プロジェクト3776構想推進協議会開催 1999.12.21 静岡新聞朝刊
- 裾野・山梨の写真クラブ、富士山写真集を合同出版 2000.1.5 静岡新聞朝刊

富士山保全の輪を広げて

富士で ネットワーク設立

静岡、山梨両県が昨年十一月に制定した「富士山憲章」の周知、定着を図るため、富士山の環境保全運動の全国的な広がりを目指すとして「ふじさんネットワーク」の設立総会と第一回総会が二十三日、富士市桑崎の富士山こどもの国で開かれた。会長に土隆一静岡大名誉教授を選び、シンボルマークを制定した。富士山



シンボルマーク

ふじさんネットワーク 設立総会・第一回総会



富士山憲章の推進を呼び掛ける「ふじさんネットワーク」の土会長
＝富士市桑崎の富士山こどもの国

リンセ、シンボルマークは浜松市内の会社員木村幸男さん（大電市在住）のデザインが採用された。木村さんは「富士山の保全活動のあかしとして未来へ活用し、活動の輪を広げていきたい」とあいさつした。富士山周辺で環境保全に取り組みむ団体